

13. 緊急作業従事者の線量分布 [平成22年度～28年度]

線量 (mSv) 年度	放射線業務従事者数 (人)											計 人	線量		
	1以下	1を超え 5以下	5を超え 10以下	10を超え 30以下	30を超え 50以下	50を超え 70以下	70を超え 100以下	100を超え 150以下	150を超え 200以下	200を超え 250以下	250を 超える		合計 (人・mSv)	平均 (mSv)	最大 (mSv)
平成22年度 ～ 平成27年度	4,740 (24.6%)	4,866 (25.2%)	2,803 (14.5%)	4,645 (24.1%)	1,192 (6.2%)	459 (2.4%)	405 (2.1%)	137 (0.7%)	28 (0.2%)	3 (0.0%)	6 (0.0%)	19,284	247,403.2	12.8	678.8
平成22年度	440	591	636	1,492	409	156	139	82	18	2	6	3,971	85,759.3	21.6	670.4
平成23年度	4,905	4,755	2,602	4,368	772	140	27	1	0	0	0	17,570	148,247.0	8.4	107.6
平成24年度	116	222	163	129	21	1	0	0	0	0	0	652	4,893.7	7.5	54.1
平成25年度	124	397	154	107	12	0	0	0	0	0	0	794	4,290.3	5.4	41.9
平成26年度	156	403	134	65	0	0	0	0	0	0	0	758	2,981.1	3.9	29.5
平成27年度	367	247	46	13	0	0	0	0	0	0	0	673	1,231.8	1.8	15.1
平成28年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	—	—

[表の見方]

- 「平成22年度～平成27年度」は、この期間の緊急作業従事者の線量ランク毎の従事人数を、それ以外は単年度毎に従事人数をまとめました。複数の年度に同一の者が従事した場合もあるため、単年度毎の人数の合計と「平成22年度～平成27年度」の人数は一致しません。
- 例えば、表における「平成23年度」の線量「10を超え30以下」の「4,368」という値は、平成23年度に緊急作業を行い、その線量が10mSvを超え30mSv以下であった者が、4,368人であったことを示します。
- この表は平成29年7月13日に作成し、それまでに受けた訂正登録が加味されています。そのため、これまで緊急作業従事者の統計として公表している数値と異なるものが含まれています。
- 平成28年度は緊急作業従事者の線量登録はありませんでした。